

社会的要因

- サイズ変数: 母語の話者よりもコミュニケーション相手を拡大するか、縮小するか。
- 発生変数: 自然発生的なものか、人工的なものか。
- 員数変数: 個人的なものか、集団的なものか
- 頻度変数: 接触が一過性のものか、定常的なものか。
- 発生変数、員数変数と頻度変数が接触密度を規定し、接触言語の安定度を決定する。

社会的要因(2)

- 母語保持圧力: 母語を維持しようとする圧力と母語でない言語を受け入れようとする圧力のどちらが強いのか。(接触言語から母語化への移行に大きな役割を果たす。)
- 上層語圧力: 上層語の圧力が強いのか弱いのか。(母語保持圧力に貢献する変数)(人口比変数と地位上昇変数から結果として出てくる)(脱クレオール化現象を引き起こす。)
- 人口比変数: 上層語話者と基層語話者の人口比
- 地位上昇変数: 上層語を習得することにより社会的位置があがる可能性が高いか、低いのか。

社会的要因(3)

- 接触圧力: 頻度変数から結果として出てくる圧力
- 表現力変数: 充分整った表現手段を必要とするか。(頻度変数and/or臨界期変数によって決定される従属変数)
- 慣習化変数: 歴史的堆積としての慣習化の度合い
- 単純化効果変数: 母語話者が非母語話者にわかりやすくするために構造を単純化する度合い